

課外活動室
鍵の貸し出しに
学生証の提示義務化
'01大学祭開催
市民とのかけはし
地下鉄東西線
駅別素案発表
まちづくりの基本方針

英語科目に外部試験導入
文系学部で来年度入学生から
本学では、来年度入学生から、英語
科目的受講期間が一部の学部で延長され、
外部の検定試験のスコアで単位が認定され
ることになる。これは、来年度から実施さ
れる全学教育科目のカリキュラム改編の一
環。また現在、検定試験の得点分布調査を行
っており、大学は学生に協力を求めてい
る。

英語科目は来年度から全学

四学部。来年度入学生が三年

で、「展開英語」と「実践英語」に

名称を変える。「展開英語Ⅰ」で検定試験の

英語は、高校の暗記中心型受験が義務づけられる。また、自習時間に

英語教育から、大学の専門

教育に繋がる高

度な読解力を培

う導入となる。

「実践英語」は、実践的な英語力の養成が主眼とな

る。英語の単位認定に外部の検

定試験が使われるのは文系の

視野に入れ、社

会に通用する実

践的な英語力の養成が主眼とな

(3) 2001年12月7日発行

本学通研一般公開

本学通研一般公開

東北大學電氣通信研究所の一般公開が十一月十七日、本学片平キャンパスにて行われた。この一般公開では研究室の公開と、公開実験会場での公開実験が行われた。会場に来られた学生から家族連れまで、幅広い年齢層の人が訪れ、盛況であった。

各研究室では、日頃の研究成果を公開していた。L.S.（大規模集積回路）や半導体を用いた実験を再現するものなどがあった。

電気通信研究所一号館に設置された公開実験会場では、八木・宇田アンテナをはじめとした各種の実験装置が展示され、多くの観客で賑わっていた。

実験会場では、電気通信研究所の研究員や研究生による講演や、実験操作の演示が行われた。また、実験装置の構造や原理についての説明も行われた。

会場には、マイクロマシンなどの模型や、アモーラー・カーラーの模型など、様々な展示物が並んでいた。また、実験装置の操作方法や、測定結果の表示方法についての説明も行われた。

会場には、マイクロマシンを扱っている。マイクロマシンは長さ約一センチメートルで、磁界を調整することにより回転し生体内部を移動することができる。

ここでは、マイクロマシンを寒天の中で動かし、実際に体内でどの様に動くのかを観察することができた。

研究員や研究生の、画像やグラフを用いた丁寧な説明に、観客の反応は様々だった。納得する人や、難しい話に戸惑う人、いの表情を浮かべる人、中には専門的な言葉を交わす人もいた。訪れた人は最先端の技術を間近で見て、感嘆の声を漏らしていた。

方でサークルの数は、大学に届出をしているものだけで、百三十七の部室がある。一方で、学局はどのような現状に対応して、大いこうとしているのか。

「課外活動は豊かな人間性を培うために必要です。基本的に、部室を提供していきたかったのですが、いとは考えていました」。川北委員会（＊）の代表は、このように述べ、部室の必要性は、多くのかわらず、部室を管理している文化部サークルが認めている。しかし、実際のところ、第二恒久サークル棟建設議会（以下サ協）には毎年、部室を持たないサークルからの具体的な計画は立てられておらず、また、それとは別に新しく部室を提供することもできぬという。「できれば、学サ協の意見は、それに問題を内包する。

生の間で話し合って、今ある考察し、問題点をさぐる。

こうした現状に対応して、大いこうとしているのか。

またサ協は、「建物が相当古くなっている、サークル棟に入っている部室の保証も必要」とも述べ、第二恒久棟の建設を求める方針を強く打ち出している。

学生間での部室の調整による問題の解決を望む大学当局も、積極的な部室の調整よりも、建設による解決を求めていく。あくまで第二恒久サークル棟建設による問題を内包する。

シリーズ大戦

勝利への上昇気流

大学とサ協の狭間で 部室不足を考える

の建設だが、未だ具体的な案はたっていない。建設できたとしても、時間がかかるため、いと考えられる。新しい部室が配される可能性は現行の制度下ではきわめて低い。◆◆◆

本学大学院工学研究科 大村虔一教授

① 航空部

国際文化研究科						
専攻	志願者數	志願者内訳		合格者數	合格者數内訳	
		本学	他大学		本学	他大学
国際地域文化論	16	2	14	9	1	8
国際文化交流論	14	2	12	10	1	9
国際文化言語論	9	0	9	5	0	5
計	39	4	35	24	2	22

専攻		志願者数	志願者内訳		合格者数	合格者数内訳	
			本学	他大学		本学	他大学
経済学	31	16	15	13	9	4	
経営学	23	8	15	17	8	9	
現代応用経済科学	30	8	22	17	7	10	
計	84	32	52	47	24	29	

農 學 研 究 科						
專 攻	志願者數	志願者內訣		合格者數	合格者數內訣	
		本學	他大學		本學	他大學
資源生物科學	45	35	10	38	33	5
應用生命科學	80	63	17	69	60	9
資源環境經濟學	7	4	3	6	4	2
環境修復生物工學	22	16	6	17	15	2
計	154	118	36	130	112	18

文学研究科						
専 攻	志願者數	志願者内訳		合格者數	合格者數内訳	
		本学	他大学		本学	他大学
文化科学専攻	12	5	7	7	3	4
言語科学専攻	10	2	8	8	2	6
歴史科学専攻	0	0	0	0	0	0
人間科学専攻	12	4	8	8	4	4
計	34	11	23	23	9	14

